お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

SoftBank 201M

お買い上げ品の確認

このたびは、「SoftBank 201M」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■201M本体

■クイックスタート
■お願いとご注意（本書）
■保証書
（本体、ACアダプタ）

■ACアダプタ（MOCAA1）
<ACアダプタ本体>

<microUSBケーブル（試供品）>

■ステレオヘッドセット（試供品）

■microSDカード（試供品）※

※お買い上げ時には、本機に取り付けられています。

■USIM／SDカード挿入ツール（試供品）

- 本機には、電池が内蔵されています。
- 本書では、「SoftBank 201M」を「本機」と表記しています。
- 本書ではmicroSDHCメモリカード（microSDメモリカードを含む）を、以降「SDカード」と記載いたします。
- その他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

本機を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。
また、お読みになったあとは本書を大切に保管してください。

こんな使いかたはやめましょう

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをすると、けがや故障の原因となります。

分解・改造
分解や改造をしないでください。

水濡れ
本機は撥水加工しているため小雨に当たったりする程度の水濡れには対応しておりますが、完全防水仕様ではありません。水に濡らさないでください。

外部接続端子の接触禁止
外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。

指定品以外の使用
本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

加熱の禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機を入れて加熱しないでください。

運転中
自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

このようなときは必ず電源を切りましょう

■ 航空機内

航空機内での使用は罰せられることがあります。機内で本機が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。

■ 病院内

病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

■ 満員電車など

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性があります。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがありますので、本機の電源をお切りください。

■ 映画館・劇場・美術館など公共の場所

静かにすべき公共の場所で本機を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

マナーを守るための便利な機能

■ マナーモード

周囲の方に迷惑にならないよう、本機から音が出ないようにします。

■ 機内モード

電源を入れたままで、電波の送受信だけを停止します。

■ 留守番電話サービス

圏外時や電話に出られないとき、留守番電話センターで伝言をお預かりします。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	説明
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、ACアダプタ、SDカード（試供品）、ステレオヘッドセット（試供品）、USIM／SDカード挿入ツール（試供品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

本機に使用するACアダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機にACアダプタを接続する際、うまく接続ができないときは、無理に行わないでください。
端子の向きを確かめてから、接続を行ってください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

本機・ACアダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. コンセントから AC アダプタ本体を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子、ACアダプタ本体のプラグやUSB接続端子、microUSBケーブルのプラグに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーション（振動）設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

⚠注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料→P.42）。

禁止

本機に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

ACアダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流 ACコンセント専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、ACアダプタ本体を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタ本体を持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

指示

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタ本体を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタ本体のプラグやUSB接続端子、microUSBケーブルのプラグに導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ本体のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタ本体を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、microUSBケーブルを引っ張らず、ACアダプタ本体を持ってプラグを抜いてください。
microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが傷つき、感電や火災などの原因となります。

禁止

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室･集中治療室(ICU)･冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- USIMカードは、ソフトバンクからお客様への貸与品になります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。解約などを行って不要になったUSIMカードは、ソフトバンクショップまでお持ちください。
- 故障と思われる場合、盗難や紛失・破損した場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先（→P.44）までお問い合わせください。
- USIMカードを他のICカードリーダーなどに挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- USIMカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布でふいてください。
- USIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 本機は電波を利用しているので、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は、電波法で定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法を取られた場合には第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは
    無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- 本機に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによる携帯電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

- 本機で画面ロック解除用のパスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

技術基準適合証明について

- 改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として、「技適マーク㊖」が次の操作で確認できます。
  確認方法：ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」→「法的情報」→「工事設計認証と警告内容」
  本機のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用しないようにお願いします。

お取り扱いについて

■ 本機・USIMカード・ACアダプタ・SDカード（試供品）・ステレオヘッドセット（試供品）・USIM／SDカード挿入ツール（試供品）について（共通）

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は撥水加工しておりますが、防水仕様ではありません。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンなどの中で重いものの下になったりしないようにしてください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて充電端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質する恐れがありますので使用しないでください。
- 家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、離れてご使用ください。

- 通話中、充電中など、ご使用状況によっては本機が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。
- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SDカード内のデータの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切ったり、SDカードを抜いたりしないでください。

■ 本機について

- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在することがあります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の素材にはガラスが使用されています。製品に衝撃が加えられるとガラスが壊れる場合があります。ガラスが壊れた場合、触らないでください。また取り除こうとせず、お問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。
- 強く押す・たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷や破損の原因となります。
- ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。傷や破損の原因となります。
- カバンやポケットに入れているときにキーが誤動作しないように、画面ロックの設定をしておくことをおすすめします。
- ディスプレイをふくときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合には、本機内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。また、エアコンの吹き出し口などに置くと、急激な温度変化により結露する場合があります。結露が発生すると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、画面ロックの状態で収納してください。画面ロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。

■ 有機ELディスプレイについて

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。これは、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタ本体のプラグをコンセントから抜いてください。
- microUSBケーブルをACアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- AC アダプタ本体のプラグやコネクタと microUSB ケーブルの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ カメラについて

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 本機の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権などの侵害となる恐れがありますのでご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権について

- 音楽・映像・コンピュータ・プログラム・データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）・改変・複製物の譲渡・ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、

上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演、興行および展示物などには、個人として楽しむための撮影自体が制限されている場合がありますのでご注意ください。

■ 肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

■ 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「利用する」に設定されています。
- 受信時には、マナーモード設定中でも警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪いときは受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「利用する」にしている場合、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

防滴性能について

本機の防滴仕様は、IPX2※相当です。

防水仕様ではないため水をかけたり、水につけると故障の原因になります。

※ IPX2とは、本機が15度以内で傾斜しても鉛直に落下する水滴に対して保護することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機は撥水加工しているため雨に当たったりする程度の水濡れには対応しておりますが、完全防水仕様ではありません。水に濡らさないでください。
- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防滴加工しておりますが、防水仕様ではありません。
- 万が一水に濡れた際にはすぐに電源を切り、本機をよく振って水を切ったあと、柔らかい乾いたタオル等でよく拭いてからご使用願います。

■ 周波数帯について

本機のBluetooth®機能およびWi-Fi（無線LAN）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth®機能：2.4 FH1/XX8
本機は2.4GHz帯を使用します。FH1は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4 DS4/OF4
本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth®についてのお願い

- 本機のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ Bluetooth®ご使用上の注意

本機のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。

■ Wi-Fi（無線LAN）についてのお願い

- 本機のWi-Fi（無線LAN）機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではWi-Fi（無線LAN）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のWi-Fi（無線LAN）のアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi（無線LAN）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ Wi-Fi（無線LAN）ご使用上の注意

本機のWi-Fi（無線LAN）機能の使用周波数は2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。

■ Wi-Fi（無線LAN）機能の5GHz帯使用チャンネルについて

本機は5GHzの周波数帯においてW52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

- 本機はすべてのBluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Wi-Fi（無線LAN）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®とWi-Fi（無線LAN）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、Wi-Fi（無線LAN）のいずれかの使用を中止してください。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

フリーズ時の対応方法について

本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりした場合は、次の操作で本機を再起動してください。

1. **電源キーと音量小キーを同時に10秒以上押す**
   本機の電源が切れます。
2. **電源キーを長押し**
   本機が起動します。

知的財産権について

商標

- microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、ソフトバンク株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- S! メール、デコレメールは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Latitude」、「Google トーク」、「Google+」、「Google Chrome」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™はWi-Fi Allianceの商標です。

- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
- iWnnはオムロン株式会社の登録商標です。
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 all rights reserved.
- モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマークは、Motorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標です。
- KEVLAR®は、Motorola Mobility LLCのライセンスの下で使用されるDuPontの登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCa はソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 「Facebook」および「Facebook」ロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc.の登録商標です。
- ビューン および VIEWN の名称、ロゴは株式会社ビューンの商標です。
- McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
  セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。
- © GREE, Inc.
- © 株式会社ディー・エヌ・エー
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

携帯電話機の比吸収率※1（SAR）について

この機種【201M】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準※1は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※2の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機【201M】の、SARは0.701W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.0センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します（※3）。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
  http://www.arib-emf.org/index02.html

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 平成9年に（旧）郵政省 電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。
詳細については、P.24をご参照ください。

- Specific Absorption Rate (FCC & IC)　米国連邦通信委員会（FCC）（英文のみ）
- Specific Absorption Rate (ICNIRP)　欧州（英文のみ）

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf
SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/

General Notes

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Regulatory Information

Your Motorola mobile device is designed to comply with national and international regulatory requirements. For full compliance statements and details, please refer to the regulatory information in your printed product guide.

Specific Absorption Rate (FCC & IC)

YOUR MOBILE DEVICE MEETS FCC AND IC LIMITS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) adopted by the Federal Communications Commission (FCC) and Industry Canada (IC). These limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and Health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 1.6 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. The highest SAR values under the FCC and IC guidelines for your device model are listed below:

Head SAR	UMTS/GSM/LTE, Wi-Fi, Bluetooth	1.06 W/kg
Body-worn SAR	UMTS/GSM/LTE, Wi-Fi, Bluetooth	0.771 W/kg

During use, the actual SAR values for your device are usually well below the values stated.

This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

If you are interested in further reducing your RF exposure then you can easily do so by limiting your usage or simply using a hands-free kit to keep the device away from the head and body. Additional information can be found at www.motorola.com/rfhealth.

Specific Absorption Rate (ICNIRP)

YOUR MOBILE DEVICE MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands*. The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for your device model are listed below:

Head SAR	UMTS 2100+Wi-Fi+Bluetooth	0.99 W/kg
Body-worn SAR	LTE Band 41+Wi-Fi+Bluetooth	0.501 W/kg

During use, the actual SAR values for your device are usually well below the values stated. This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

If you are interested in further reducing your RF exposure then you can easily do so by limiting your usage or simply using a hands-free kit to keep the device away from the head and body.

Additional information can be found at www.motorola.com/rfhealth.

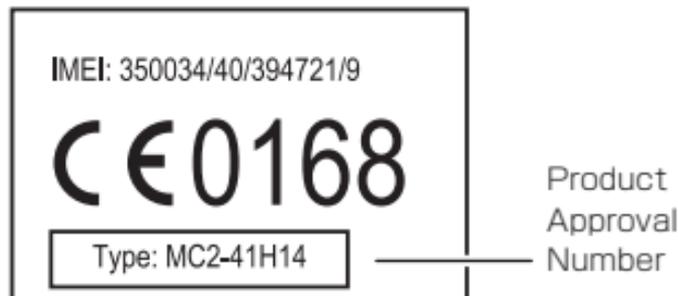
* The tests are carried out in accordance with [CENELEC EN50360] [IEC standard PT62209-1].

European Union Directives Conformance Statement

The following CE compliance information is applicable to Motorola mobile devices that carry one of the following CE marks:

Hereby, Motorola declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

For products that support Wi-Fi 802.11a (as defined in your product information): This device is restricted to indoor use when operating in the 5.15 to 5.25 GHz (802.11a) Wi-Fi frequency band. The following gives an example of a typical Product Approval Number:

You can view your product's Declaration of Conformity (DoC) to Directive 1999/5/EC (to R&TTE Directive) at www.motorola.com/rtte (in English only). To find your DoC, enter the Product Approval Number from your product's label in the "Search" bar on the website.

モトローラ製品の安全上のご注意

SoftBank 201Mは内蔵電池を使用しています。そのため、以下に取り外し可能な電池の記載がありますが、SoftBank 201Mには該当いたしません。

電池の取り扱いと安全上のご注意

以下の電池のご使用と安全に関する情報はすべてのモトローラ社携帯端末に適用されます。**ご利用の携帯端末の電池が取り外しできないタイプの場合（商品情報にそのように記載されている場合）、電池の取り扱いおよび交換についての記載は該当しません。**電池は当社認可のサービス店においてのみ交換してください。お客様による電池の取り外しや交換は製品を傷つける場合があります。

重要：ケガや破損を防ぐために電池は正しく扱い、保管してください。電池の安全問題はほとんどが不適切な電池の扱い、特に破損した電池を使い続けるために起こります。

禁止

- **分解、粉砕、穿孔、切削など、電池を変形させるような行為はしないでください。**
- **電池の取り付け／取り外し時は、工具や尖ったものを使ったり、強い力をかけないでください。**破損の原因となります。
- **携帯端末や電池に液体をかけないでください。**
  ※液体が携帯端末の回路に浸入すると、腐食の原因となります。
- **電池に金属製の物質を接触させないでください。**アクセサリーなど金属製の物質が長時間電池の端子部分に接触していると、電池が大変熱くなることがあります。
- **携帯端末や電池を熱源のそばに置かないでください。**
  ※電池の温度が上がり、膨張、液もれ、故障の原因となります。
- **濡れたり、湿った電池をヘアドライヤーや電子レンジなどで乾かさないでください。**

指示

- **携帯端末を高温の車の中に置きっぱなしにしないでください※**
- **携帯端末や電池を落とさないでください※**
  特に硬い表面への落下は破損の原因となります※。
- **ご利用の携帯端末や電池が上記の理由で破損した場合は、サービス店または当社に連絡してください。**

※ **注意**：ご利用の**携帯端末**の製品情報に、上記に対する耐性があると記載されている場合でも、必ず電池、コネクタ、部品カバーはしっかりと閉めて、電池に直接ダメージを与えないでください。

重要：当社は、品質の確保と安全のために、専用の電池と充電器をお使いになることを推奨します。

当社の製品でない電池や充電器の使用による携帯端末の破損は、保証適用外となります。

正規品でない製品や偽物（十分な安全性がない場合があります）と当社の電池を見分けるために、当社の電池にはホログラムがあります。購入の際には「Motorola Original」のホログラムをご確認ください。

ディスプレイに**無効なバッテリ**または**充電できません**の表示が現れた場合は、以下の手順に従ってください。

- 電池を取り出し、電池に「Motorola Original」のホログラムがあるかを確認してください。
- ホログラムがない場合は、当社の電池ではありません。
- ホログラムがある場合は、電池を交換し、充電しなおしてください。
- メッセージがまだ出ている場合は、当社のサービスセンターへ連絡してください。

警告：当社製以外の電池や充電器のご使用は、火災、爆発、漏液などの危険につながる可能性があります。

適切で安全な電池の廃棄とリサイクルについて：適切な電池の廃棄は安全のために重要なだけでなく、環境のためでもあります。使用済みの電池は多くの小売店やサービス店でリサイクルすることができます。適切な廃棄とリサイクルの詳細については、www.motorola.com/recyclingをご覧ください。

廃棄：お住まいの地域の条例に従って適切に使用済み電池の廃棄を行ってください。電池の廃棄の仕方についての詳しい情報はお住まいの地域のリサイクルセンターまたは国のリサイクル機関にお問い合わせください。

警告: 絶対に電池を火の中に捨てないでください。爆発する場合があります。

充電について

ご利用の製品の電池の充電についてのご注意

- 充電中は、効率的な充電のため、室温を保ってください。
- 新しい電池は完全に充電されていません。
- 新しい電池や長い間保管されていた電池は充電に時間がかかることがあります。
- 当社製の電池および充電システムは、過充電によるダメージを防ぐための電気回路を備えています。

当社製品以外のアクセサリーについて

当社製品以外の付属品は、電池、充電器、端末、カバー、ケース、画面プロテクタやメモリーカードなども含めて、ご利用の携帯端末の動作に影響を与える場合があります。状況によっては、当社製品以外の付属品は危険なものとなる場合があり、ご利用の携帯端末の保証書が適用されない場合があります。当社製の付属品一覧は、http://www.motorola.com/mobilityでご確認ください。

運転中のご注意

車に乗っているときは、責任のある安全運転がお客様の第一の責務となります。運転中の携帯端末や通話用付属品またはアプリのご利用は、注意力を散漫にし、特定の地域では禁止や制限されている場合があります。これらの製品のご利用は法律や法規に従ってください。

運転中の禁止事項

- メッセージやメール、その他の文章の作成、閲覧
- インターネットの閲覧
- ナビゲーション情報の入力
- その他、運転から気を散らしてしまうような操作

運転中の指示事項

- 常に道路に目を向ける
- お住まいのエリアで利用可能、または法律によって必要とされている場合にはハンズフリー機器を使用する
- 目的地情報は、運転する前にナビゲーション機器に入力する
- 利用可能であれば、音声起動機能（ボイスダイヤルなど）や会話機能（音声指示など）を使用する
- 車内での携帯端末や付属品の使用についてのお住まいの地域の法律や法規に従う
- 運転に集中できないときは通話や操作を終了する
  www.motorola.com/callsmartの「Smart Practices While Driving」（英文のみ）内容をご確認ください。

発作、めまい、失神、目の疲れなど

長時間画面を注視すると、目の疲れや頭痛を起こすことがあります。画面から適度な距離で見る、明るい場所で利用する、および頻繁な休憩をとるなどしてください。
人によってはビデオゲームやライトの点滅する動画などで、ライトの点滅やパターン照明に対して刺激を受け、発作やめまい、失神などを（以前にはそのようなことがなくても）起こす場合があります。
次のような症状が現れた場合は利用を止め、医師に相談してください：発作、めまい、失神、けいれん、目や筋肉のけいれん、意識喪失、失見当
お客様または家族の誰かが発作やめまい、失神などを経験している場合は、携帯端末上でライト点滅効果のあるアプリケーションを利用する前に医師に相談してください。

音量についてのご注意

警告：長時間の大きな音量は聴力に影響を与える場合があります。聴力に影響が出ないように、音量レベルを上げるときは時間を短くしてください。

聴力の保護のために：

- 大音量でのヘッドセットやヘッドフォンの使用は、短時間にしてください。
- 周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げることは避けてください。
- 近くで話している声が聞こえない場合は、音量を下げてください。

耳の圧迫感や閉塞感、耳鳴り、聞き取りが不明瞭など、聴覚に違和感がある場合はヘッドセットやヘッドフォンの利用を中止して、聴覚の検査を受けてください。
聴覚についての詳細な情報は、当社のホームページ
direct.motorola.com/hellomoto/nss/AcousticSafety.asp（英文のみ）をご覧ください。

連続動作時のご注意

長時間キーボードを打ったり手書き文字を入力すると、手や腕、肩、首などが凝ったり、不快感を覚えることがあります。このような症状が長く続く場合は使用を止め、医師に相談してください。

お子様へのご注意

携帯端末および付属品は小さな子供の手の届かないところに置いてください。

これらの製品はおもちゃではありません。幼児が誤って製品を使用した場合、次のような事故の原因となる恐れがあります。

- 取り外し可能な部品を飲みこんでの窒息
- 大きな音による聴覚障害
- 電池の発熱によるやけど

年長の子供の携帯電話の操作にはご注意ください。

年長の子供が保護者の携帯電話を操作する場合、次のようなことにご注意ください。

- 不適切なアプリやコンテンツへのアクセス
- アプリやコンテンツの不正な利用
- 端末データの喪失

ガラス製の部品について

ご利用の携帯端末の素材にはガラスが使用されています。製品に衝撃が加えられるとガラスが壊れる場合があります。ガラスが壊れた場合、触らないでください。また取り除こうとしないでください。正規のサービスセンターにてガラスをお取替えするまで、携帯端末のご利用は止めてください。

ご利用にあたって

公共の場での携帯端末のご利用は、掲示されている表示に従ってください。

■ 爆発の危険性について

爆発危険エリアには標識のある場所だけでなく、爆破エリア、ガソリンスタンド、燃料補給エリア（船のデッキの下など）、燃料または化学品輸送または保管施設、空気中に化学薬品や穀物粉塵や金属粉などの粒子が含まれる場所が含まれます。

そのような場所にいる時は、無線製品の使用が特に認められ、「Intrinsically Safe（本質的に安全）」としての証明のある場所（Factory Mutual、CSA、UL承認など）でない限りは、ご利用の携帯端末の電源を切って、充電などはしないでください。このようなエリアでは、火花が起こり、爆発や火災の原因となります。

■ 絵表示

電池、充電器、携帯端末には以下のような記号が付いている場合があります。

記号	意味
	重要な安全の情報が記載されています。
	電池や携帯端末を火の中に捨てないでください。
	電池や携帯端末は、お住まいの地域の法律に従ってリサイクルが必要な場合があります。詳細な情報はお住まいの地域の規制当局に問い合わせてください。
	電池や携帯端末は家庭ごみと一緒に捨てないでください。詳しくは「リサイクルについて」をご覧ください。
	工具を使わないでください。
	屋内使用のみ。

無線周波数(Radio Frequency （RF）)エネルギーについて

■ RFエネルギーの被ばく

ご利用の携帯端末には送信機と受信機が組み込まれています。電源が入っているときは、RFエネルギーを受信し、送信しています。携帯端末で通信を行う場合、通話を取り扱うシステムが電力レベルを制御し、携帯電話の送信レベルにしています。

本製品は、人体へのRFエネルギーへの被ばくに関する国の規制要件に準拠するよう、設計されています。

■ RFエネルギー操作上のご注意

携帯端末の最適なパフォーマンスのため、また、RFエネルギーの人体への被ばくが、関連の規格で説明されているガイドラインを超えないように、必ず以下の指示と注意に従ってください。

- 電話をかける、または受けるときは固定電話を持つときのように携帯端末を持ってください。

- 携帯端末を身につけるときは、常に当社が提供するか承認した付属品（例：クリップ、ホルダー、ホルスター、ケース、アームバンド）に携帯端末をセットしてください。当社提供または承認した装着用の付属品をお使いにならない場合、金属が使われていない製品で、携帯端末が体から少なくとも2.5cm（1インチ）は離れるような製品をお使いください。
- 当社提供または承認でない付属品の使用は、携帯端末の RF エネルギーが被ばくガイドラインを超える原因となります。当社提供、または承認の付属品については、当社のホームページ www.motorola.comをご覧ください。

■ RFエネルギーの干渉／互換性

ほとんどの電気機器は、保護物、設計、RFエネルギー互換性に対するその他の設定が不十分な場合に、外部資源からのRFエネルギーの干渉を受けます。状況によっては、ご利用の携帯端末は、他の機器への干渉の原因となる場合があります。

■ 干渉問題を回避するための指示に従ってください

病院や健康管理施設など、表示のある場所では、携帯端末の電源を切ってください。

航空機内では、航空会社のスタッフから指示がある場合は、必ず携帯端末の電源を切ってください。ご利用の携帯端末に機内モードや同様の機能がある場合は、航空会社のスタッフに飛行中の使用についてお尋ねください。

■ 医療機器について

ペースメーカーや除細動器などの植込み医療機器を含む医療機器を装着している場合、携帯端末をご利用になる前に健康管理提供者および機器メーカーの指示を仰いでください。

植込み型医療器具を使用している方は以下の注意点を守ってください。

- 携帯端末の電源を入れるときは、必ず、携帯端末は植込み型医療機器から22cm以上、離してください。
- 端末を胸ポケットに入れて持ち運ばないでください。
- 干渉の影響を最小限にするため、植込み型医療機器とは反対側の耳を使ってください。
- 干渉が起こっていると思われた場合は、すぐに携帯端末の電源をお切りください。

位置情報サービスについて

以下については、位置情報を基本とする機能を提供している当社携帯端末に適用されます。位置情報の情報源にはGPS、AGPS、Wi-Fiが含まれます。

ご利用の携帯端末は、Global Positioning System（GPS）の電波を、位置情報アプリケーションに使用しています。GPSは米国政府が運営する衛星を使用していますので、国防総省の方針および連邦無線ナビゲーション計画のため制御されることがあります。これらの制御により、ご利用の携帯端末の位置情報技術の性能に影響が出る場合があります。

また、ご利用の携帯端末は、Assisted Global Positioning System（AGPS）を利用し、携帯端末のネットワークから情報を得てGPSによ

る動作結果を向上させています。AGPSは、お客様のご利用の無線サービスプロバイダのネットワークを使用しており、ご契約内容によって通信時間、データへの課金や追加料金が発生する場合があります。詳細はご利用の無線サービスプロバイダにお問い合わせください。
また、ご利用の携帯端末はWi-Fi電波を使用し、既存または利用可能なWi-Fiネットワークからの情報を使ってお客様のおおよその位置を確認します。

■ 現在地

位置情報は、携帯端末のおおよその位置を確認するのに使われます。ワイヤレスネットワークに接続されている携帯端末は、位置情報を送信します。位置情報機能を有効にした端末も、位置情報を送信します。さらに、お客様が位置情報を要求するアプリケーションをご利用の場合（例：運転案内）、それらのアプリケーションは位置情報を送信します。この位置情報はお客さまの無線サービスプロバイダ、アプリケーション提供者、モトローラ社、その他のサービス提供者を含む第三者に共有される場合があります。

■ 緊急通報

緊急通報を行う場合に、携帯電話のネットワークによって携帯端末上のAGPSが有効になり、緊急通報先にお客様のおおよその位置を伝達する場合があります。
AGPSには制限が設けられており、**すべてのエリアで利用できるわけではありません**。そのため

- 必ず緊急通報先にはお客様の位置を伝えてください。
- 緊急通報先がお客様に指示する間は、電話を切らないでください。

ナビについて

以下については、ナビゲーション機能を提供する当社携帯端末に適用されます。
ナビゲーション機能をお使いの際には、マッピング情報、道順、その他のナビゲーションデータには、正確でない、不完全なデータが含まれていることをご了承ください。国によっては完全な情報が入手できない場合があります。そのため、ナビゲーションの指示がお客様の見ているものと一致しているかを、視覚的に確認する必要があります。運転者は道路状況、閉鎖、交通量、その他運転に影響を与える要因について十分に注意してください。必ず道路標識に従ってください。

プライバシーとデータの機密保持について

当社はプライバシーとデータのセキュリティは重要なものであると考えています。ご利用の携帯端末の機能によっては、プライバシーまたはデータのセキュリティに影響を与える場合がありますので、以下に従い、お客様の情報の保護を強化してください。

- **アクセスの監視**－携帯端末を他の人が勝手にアクセスできる場所に放置しないでください。携帯端末のセキュリティ機能を利用し、必要に応じて携帯端末をロックしてください。
- **ソフトウェアは最新の状態にしてください**－当社またはソフトウェア／アプリケーションベンダーによる更新用ソフトが提供された場合は、すみやかにインストールしてください。

- **個人情報の安全を確保する**－ご利用の携帯端末にはUSIMカード、メモリーカード、電話メモリなどを含むさまざまな箇所で個人情報が保存されています。端末をリサイクル、返却、譲渡する場合は、必ず事前にすべての個人情報を取り除くか削除してください。個人情報はバックアップを取って新しい端末に移行させることができます。

  注意：バックアップのしかた、ご利用の携帯端末からのデータの削除については、http://www.motorola.com/myrazrmをご覧ください。
- **オンライン上のアカウント**－携帯端末によってはモトローラ・オンライン・アカウント（MTOBLURなど）が利用できるものがあります。アカウントの管理のしかた、およびremote wipeやdevice location（利用可能な場所）などのセキュリティ機能についての情報は、お客様のアカウントにアクセスしてご確認ください。
- **アプリケーションと更新**－アプリケーションの選択、更新にはご注意ください。また信用できる場所からのみインストールしてください。アプリケーションによっては、お客様の電話の性能に影響をあたえたりアカウント詳細、通話データ、位置情報詳細やネットワーク資材を含む個人情報へアクセスするものがあります。
- **無線**－ Wi-Fi 機能付きの携帯端末の場合、信用できる Wi-Fi ネットワークにのみ接続してください。また、端末をアクセスポイントとして使用する場合（可能な場合）ネットワーク・セキュリティをご使用ください。お客様の端末への不正アクセス防止に役立ちます。
- **位置情報**－ GPS、AGPS、Wi-Fi などの位置情報技術を有効にしている携帯端末は位置情報を送信します。詳細は、「位置情報サービスについて」をご覧ください。
- **端末が送信するその他の情報について**－お客様の携帯端末は、試験用および診断（位置情報含む）情報、その他の非個人的な情報を当社または第三者サーバーに送信する場合があります。この情報は製品および当社が提供するサービスの向上に使われます。

ご利用の携帯端末がプライバシーまたはデータのセキュリティにどのような影響を与えるかについては、当社privacy@motorola.comまたはご利用のサービス提供者にお問い合わせください。

お取り扱いについて

当社の携帯端末の取り扱いについては以下に従ってください。

液体

携帯端末に水、雨、湿気、汗、その他の液体を触れさせないでください。

乾燥

電子レンジ、オーブン、ドライヤーを使って携帯端末を乾かさないでください。携帯端末が破損する恐れがあります。

極端な高温または低温
-10℃（14F）以下、または60℃(140F)以上の場所で、携帯端末の保管、使用はしないでください。0℃(32F)以下、45℃(113F)以上の場所で、携帯端末の充電はしないでください。

ほこりと汚れ
ほこり、汚れ、砂、食物などに、携帯端末を触れさせないでください。

お手入れ
携帯端末のお手入れには、乾いた、柔らかい布のみを使用してください。アルコールやその他の洗浄剤は使用しないでください。

衝撃と振動
携帯端末を落とさないでください。

保護
携帯端末を保護するために、コネクタや部品カバーがしっかりと閉じられているかご確認ください。

リサイクルについて

■ 携帯端末と付属品

携帯端末や電気付属品 （充電器、ヘッドセット、電池など）は家庭ごみと一緒に捨てたり、火にくべないでください。これらはお住まいの地域または自治体の収集およびリサイクル計画に従って廃棄してください。また、ご不要になった携帯端末および電気付属品は、お住まいの地域の当社認可のサービスセンターにて回収できる場合もあります。当社認可のリサイクル計画の詳細、当社のリサイクル活動の詳しい情報については、www.motorola.com/recyclingをご覧ください。

■ 梱包および製品取扱説明書

製品梱包材および製品取扱説明書は、それぞれの国の収集およびリサイクル要件に従って廃棄してください。詳細についてはお住まいの地域の規制当局にお問い合わせください。

ソフトウェアの著作権について

当社の製品には、モトローラ社の著作権、および半導体メモリやその他の記録媒体に保存された第三者のソフトウェアの著作権が含まれている場合があります。米国およびその他の国々の法律によって、モトローラ社および第三者ソフトウェア提供者は、著作権を取得したソフトウェアの独占的な権利、例えば著作権を取得したソフトウェアの配布または複製に関する独占的な権利などを保護しています。したがって、モトローラ社製品に含まれる著作権を取得したソフトウェアの改ざん、リ

バースエンジニアリング、配布、複製は、適用される法律の許容範囲の方法によってもできません。また、モトローラ社製品の購入が、禁反言であるかないかにかかわらず、著作権、特許、モトローラ社または第三者ソフトウェア提供者の特許取得アプリケーションのライセンスを、製品の販売における法律の運用に伴う通常の、非独占的でロイヤルティフリーの使用が許可されているものを除いて、直接的または暗示的に、供与するものとは見なされません。

コンテンツの著作権について

著作権のあるコンテンツを許可なく複製することは、米国およびその他の国々の著作権法の条項に反します。本端末では、著作権のないコンテンツ、ユーザー自身が著作権を有するコンテンツ、認可または法的に複製を許可されたコンテンツのみ複製できます。コンテンツへのユーザーの権利に関して不明な点は法律の専門家にご確認ください。

オープンソースソフトウェア情報について

本製品で使用しているオープンソースソフトウェアのソースコードのコピーをお求めの方は、以下の住所に文書でお問い合わせください。お問い合わせの際は製造番号とソフトウェアのバージョンを必ずご記入ください。
MOTOROLA MOBILITY LLC
OSS Management
600 North US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
USA
オープンソースの情報はモトローラ社のウェブサイト、
opensource.motorola.com（英文のみ）にも記載されています。
opensource.motorola.com は全米におけるオープンソースソフトウェアの窓口となっています。
本製品に使われているソフトウェアのライセンスや商標に関する詳細は、 **→「設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」** からご確認いただけます。オープンソースソフトウェアを使用しているアプリケーションについては、アプリケーション中に記載されている場合もあります。

著作権・商標権について

Motorola Mobility LLC
Consumer Advocacy Office
600 N US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
www.motorola.com
1-800-734-5870 (United States)
1-888-390-6456 (TTY/TDD United States for hearing impaired)
1-800-461-4575 (Canada)

お使いのネットワークや地域によってご利用いただけない機能やサービス、アプリケーションがあります。またお申し込みや別途料金が必要になる場合があります。

詳しくはサービスプロバイダにお問い合わせください。

機能や製品仕様については、本書の印刷時において最新かつ正確な内容を記載しております。仕様や情報について将来予告なく変更されることがあります。

注意：本書で使用している画像は一例であり、実際とは異なる場合があります。

警告：本製品に改造、変更を施した場合、当社は一切の責任を負いません。

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）が必要になります。
ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。
- 交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。
- 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。

PINコード設定

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。
第三者による本機の無断使用を防ぐために使用します。
お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

- PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。
- PINロック解除コードを10回間違えて入力すると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行（有償）が必要になります。

PINコードを有効にする

PINコードを有効にすることで、USIMカードを本機に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定できます。

1 ホーム画面で→「設定」→「セキュリティーと画面ロック」→「USIMカードロック設定」

2 「USIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

1 ホーム画面で→「設定」→「セキュリティーと画面ロック」→「USIMカードロック設定」

2 「USIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」

3 新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再度入力→「OK」

- PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ソフトウェア更新の確認／更新には、通信料はかかりません。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対にUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。

ソフトウェアを更新する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」→「システムアップデート」

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。
  ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動します。

- ソフトウェア更新後に再起動しなかった場合は、電源キーと音量小キーを同時に10秒以上押し続けて、電源を入れ直してください。
  上記の動作を行っても起動しない場合は、お問い合わせ先（→P.44）まで、ご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（→P.44）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（→P.44）までご連絡ください。

使用材料

201M本体

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ロゴプレート	アルミニウム	アルマイト
	前面側部（ブラック）	アルミニウム	アルマイト
	前面側部（ホワイト）	アルミニウム	UV塗装
	前面下部	PC、EXL1414	UV塗装
	背面側部	PC、EXL7012+EXL1414T	UV塗装
	背面（ブラック）	アラミド繊維／ケブラー	SFコーティング
	背面（ホワイト）	PC+PET繊維	PUコーティング
ねじ（ブラック）		SUS410	PVD
ねじ（ホワイト）		SUS410	－
USIM カード／SD カードスロットカバー		PC、EXL1414＋熱可塑性 ポリウレタン（TPU）	UV塗装
USIM カード／SD カードスロットラベル		PET	プリント仕上げ
3.5mm イヤホン端子リング		PC、EXL1414	TNCVM
サイドキー	電源キー	ABS ＋ 熱可塑性 ポリウレタン（TPU）	メッキ（銅／ニッケル／クロム）
	音量キー	PC、EXL1414＋熱可塑性 ポリウレタン（TPU）	UV塗装
ディスプレイパネル		ガラス	プリント仕上げ
フラッシュライトレンズ		アクリル樹脂	－
カメラレンズ		ガラス	NCOC、プリント仕上げ
スピーカーメッシュ部		Fabric	Dyed
背面ロゴ		PC	NCOC、プリント仕上げ

ACアダプタ

使用箇所	材質	表面処理
AC アダプタ本体	ポリカーボネート	ー
AC アダプタ本体（プラグ部）	黄銅	ニッケルメッキ
microUSB ケーブル（USB プラグ部）	SPCC、TPE	ニッケルメッキ
microUSB ケーブル（microUSB プラグ部）	ステンレススチール、TPE	ニッケルメッキ
microUSB ケーブル（ケーブル部）	TPE	ー

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

■ ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から フリーコール 0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）
東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）
中国･四国･九州･沖縄地域	092-687-0010（有料）

■ スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151 （無料）
一般電話から フリーコール 0800-1700-151（無料）

■ ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491
(有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)